

江戸川区立新田小学校 × 体育ICT研究会



令和4年3月

子供・保護者・教師が成長する

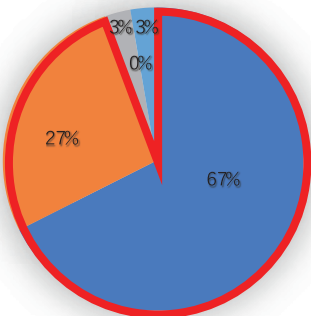
体育で 家庭と学校を シームレスにつなぐ ICT 利活用 ポートフォリオ



ポートフォリオの成果

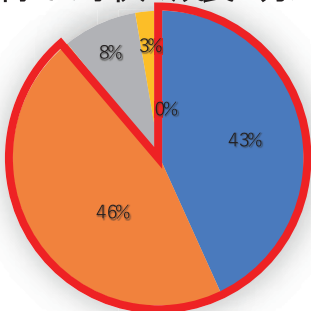
ポートフォリオを子供と保護者と教師で共有した後に、保護者にアンケートを実施しました(n=37)。

①体育の学習の様子が分かる



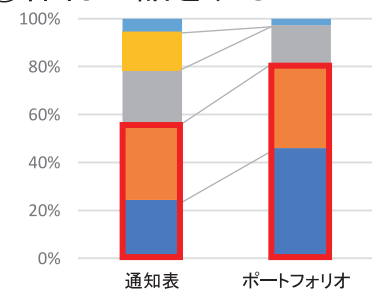
①のアンケートでは、9割以上の保護者が子供の体育の様子が分かれると回答しました。子供が撮影した動画で子供の学習場面を共有したことで、今まで分からなかった学習の様子が適切に伝わっています。

②体育での子供の成長が分かる



②のアンケートから、子供ができるようになっていく過程が伝わっていることがわかります。これは単元の始め・中・終わりの子供の運動の様子を共有した効果だと言えます。

③体育の話をする



さらに、③では一般的に学習成果を保護者に伝える通知表に比べて、ポートフォリオの方が子供との体育の会話が増えていることがわかります。

このように、家庭と学校をシームレスにつなぐポートフォリオは、子供の学習成果を適切に伝えるだけではなく、親子間の新しいコミュニケーションも生み出します。

研究に取り組んだ背景

子供の体育の様子や学習成果は、家庭と学校では適切に共有されているでしょうか。国語や算数など教科学習は教科書があり、ペーパーテストもあることから、保護者の方は子供がどのようなことを学び、何ができて何ができないかを把握することは可能です。しかし、体育の学習成果は学校の校庭や体育館で発揮されます。そのため、保護者は学校での子供の体育の様子を把握することは難しく、体育で何を学び、何ができて何ができないかが把握しにくい教科だと言えます。だからこそ、「体育」の学習成果を家庭と学校で共有する必要があると考えます。



1人1台情報端末で、家庭と学校の学びをシームレスにつなぎ、子供と保護者のコミュニケーションを生み出す！

<保護者の感想>

普段、体育の授業内容を聞いても、わかりにくい時もありましたが、タブレットを使って作成されているととてもわかりやすく、授業内容も理解しやすくなりました。そのため、子供との会話も体育の話をするようになりました。子供の成長をみることでできてうれしかったです。

体育は本人の「できた」という言葉だけでどの程度できているのかわかることができない状態でした。今回、説明してもらいながら見ることができ、どの位できたのかわかることができたと同時に、本人も「この時はもう少しこうすればよかったんだけど。」など、振り返りながら学んでいる様子が分かりました。

1人1台タブレットを活用して体育のポートフォリオを作成し、子供・保護者・教師間で共有する！ そのことで、体育に関するコミュニケーションが生まれ、子供へのかかわり方が変わる！さらに、 教師もリフレクションに活用することで、実践力向上につながる！！

授業場面



タブレットのカメラ機能を使って、運動場面を撮影します。

例えば、鉄棒運動では、「ぐるっとまわって、ぴたっと止まろう」というテーマのもと、上がって回って下りるまでの一連の動きを撮影します。さらに、その動きが単元のはじめ、中、終わりまでどのように変容したのかを見取ります。

前よりも、ぴたっと着地ができていてカッコいいよ！

ポートフォリオ検討会



授業中に撮り溜めた動画をタブレット上で整理します。子供たちが蓄積した動画はまさに学習の成果物です。子供が学習成果を整理することを通して自己評価する力がつきます。

私はこの動画を選んだ理由は...

このプレーはチームで連係しているね！

なぜその動画を選んだのかを子供が語ることが大切です。子供同士、または教師との対話を通じて、相互評価を行いながら、次の課題を設定していきます。



学習プロセスを家庭と共有



学校でのポートフォリオ検討会を通して整理した学習成果を、定期的に家に持ち帰ります。家では子供が楽しかったことやめあて、次の課題を説明しながら保護者にプレゼンします。

保護者からアドバイスをもらうことで、つぎのめあてを一緒に考えるきっかけになります。

初めよりもチームでパスがつながるようになってきているね！

学校公開では、1年間の体育の学習成果を発表します。友達の保護者や地域の方など多様な視点でアドバイスをもらうことで、様々な角度から学習をふりかえることができます。



実践者の土井美穂先生

おうちの方からもアドバイスをもらうことで、次の授業では「この子にはこういう手立てをしよう」という一人一人に合った手立て、つまり個別に最適化された指導を考えるきっかけにもなりました。そして、子供たちができるようになったことだけでなく、できるようになったプロセスを評価することが重要なことに気がしました。

ポートフォリオ検討会では、子供から意見を引き出すことが重要でした。教師がルールを引くのではなく、子供に問いかけながら自らめあてを立てる取り組みは全ての教科に通じると思います。

始めは体育が得意ではない私にできるか心配でしたが、やってみたら今まで以上に子供の成長が感じられて手ごたえがあり、私自身も成長したように思います。



手軽にポートフォリオをするPoint！

PowerPointなどで、ポートフォリオのフォーマットを作成して子供に配布することで、効率的でカンタンに学習成果を貯めていくことができます。

